

和牛子牛増頭に向けた新たな取り組み

畜産センターでは、本年度から、和牛子牛の更なる増頭を目的に、全国農業協同組合連合会京都府本部（全農）と協働して、和牛よりも安価で、体格が大きくて乳量が多く、2卵移植が可能のため、双子生産が期待できるF1（乳牛雌牛と和牛雄牛を交配して産まれた交雑種）雌牛を受卵牛として活用する取り組みを新たに実施することとし、その第一陣としてF1雌子牛7頭が、12月11日に碓高原牧場に到着しました。

今後、このF1雌子牛は、和牛受精卵を移植し、初妊牛として希望する肉用牛農家に安価で譲渡し、和牛子牛を分娩することとなります。



牧場に到着したF1子牛

畜産センター
碓高原牧場